

飲酒運転根絶への

灯をともし、共に素敵な生き方を —



TOMOS

ともす

Vol. 29
年3回発行

東海電子株式会社

杉本 哲也 さん

【特集】8. 25 飲酒運転撲滅の日

福岡県 飲酒運転撲滅県民大会

チームゼロフクオカ 8. 25の誓い

命をつなぐ 旗の波運動 2026



私たちは、 社会の安全・安心、 健康を創造します。

東海電子株式会社

代表取締役社長

杉本 哲也さん



テクノロジーの進化と
ドライバーのプロ意識

安全運転を履行するうえで、プロドライバーを雇用する企業の「点呼義務」が今、重要視されています。

「疲れていないか?」、「風邪をひいていないか?」、「睡眠はとれているか?」などの、健康状態を一人ひとりチェックしていく「声かけ」が規則として定められているのです。さらに、本人の申告をそのまま鵜呑みにするだけではなく、血圧計や体温計などの「体調を数字で示す機器」を積極的に使ってチェックすることは、とても大切です。とくにアルコールチェッカーの計測は欠かすことができません。

昨今、スマートフォンとの接続やアプリの発達などで、様々な健康管理ができる時代になりました。

テクノロジーが進化してきたことによって、運転業務に出發する前の計測はもちろん、出發した後もしドライバーの健康状態を管理することができます。

 まちに、夢を描こう。		 いつもの朝と、新しい明日を。
 株式会社 キューズロ 総合金属屋根工事業		
 あなたの日常に笑顔を 九州マツダ	 日産自動車九州株式会社 Nissan Motor Kyushu Co., Ltd.	 日産車体九州株式会社 NISSAN SHATAI KYUSHU CO., LTD.

(順不同)



アルコールインターロック って、どんな装置？

2012年、国土交通省は「呼吸吹き込み式アルコール・インターロック装置」の技術指針を公表。「エンジン始動時、ドライバーの呼気中のアルコール濃度を計測し、規定値を超える場合には始動できないようにする装置」として定義しました。

エンジンをスタートさせるキー部分の点火装置を介して、スターター信号を制御し、アルコールの有無により、エンジン始動を制御するリレー回路が作動します。

アルコール・インターロックの社会実装は現在、海外においては定型化されています。



東海電子株式会社 静岡県富士市に本社を置く電子機器製造会社。「飲酒運転防止事業」を中核に据え、アルコール検知器やアルコールインターロックなどの普及に貢献し、その事業規模を拡大。病気や事故を未然に防ぐ技術や製品開発を日本全国に大きく広げている。

とはいえ、「常に見られている」というドライバーの心理からすると、「世知辛い」複雑な心境があるかもしれないですね。

もちろん、ドライバー個人のプライバシーは重要です。人間の存在を忘れて「テクノロジー先行」の世の中になることにも反対です。

しかし、重大な事故を起こさないための対策として、企業側がドライバーの健康状態を常に管理していくことは不可欠であり、最重要義務と言えるのではないのでしょうか。

当社からの出荷先は運輸業者をはじめとする企業が大多数ですが、ここ数年で個人宅への納品も少しずつ増えてきました。アルコール検知器は知っていても、アルコールインターロックについての認識は、まだ開拓の余地がありますね。

アルコールインターロックが全国に認知されるためには、この製品を扱う参入企業が増えていくことが重要です。「ドライバーの呼気を測定し、アルコールが検知された場合、エンジンがかからない」という技術が存在することを広く訴える

企業がもっと増えていくべきです。ひとつの企業が社会に訴えたところで、世間にとって、それは「ささやき」にしか聞こえません。しかし、数社が声をあげれば、大切な命を守るための「叫び」になっていきます。飲酒運転根絶は、一人でも多くの人が、ひとつでも多くの企業が叫び切って行かなければなりません。

飲酒運転根絶のために私たちが心がけること

技術には限界があります。技術の「抜け道」を探せば、いくらでも不正は横行してしまふ。その技術を「正しく使ってくれる」こと



技術革新のチカラで、飲酒運転を「ゼロ」に！

を信じて、あらゆる情報は全て公開し、私たちのその熱意がドライバーたちに伝わることを願っています。

社会のために、「あなただったら、どうしますか？」「お酒を飲んで運転しますか？」という切実な問いを、人間の誠実な心に向けて発信し続けていきたい——死亡者・ケガ人数・検挙数、その全てがゼロになる日、飲酒運転そのものがゼロになる日まで、私たちも技術の限界に挑戦していきます。

結局、人だ。 株式会社 安全会議	settle GLOCAL HOTEL ITOSHIMA	福岡運輸システムネット
博多 本舗 二鶴堂	飲んだら歩こう 愛しとーと♡	九州リースサービス
TOYOTA L&F トヨタ L&F 福岡株式会社	トヨタ自動車九州 KYUSHU	建物をつくる人たちを守る 株式会社 ダイワ

(順不同)



福岡県 飲酒運転 撲滅県民大会

八月二十五日、今年もまた、この日が巡って来ました。二〇〇六年、今から二十年前のこの日、海の中道大橋で起きた、忘れることのできない出来事——長い歳月を経ても尚、未だになくならない飲酒運転の悲劇に胸を痛め、その撲滅を願う県民たちが、今年もまた集まりました。

今年は、県立香椎高校の生徒たちが司会を務め、博多高校生徒会の皆さんと共に、「若者による飲酒運転撲滅宣言」を発表。海の中道の事故から二十年、粕屋町の事故から十五年の節目となる本年の大会にて、新たな決意を訴えかけました。「二度と悲しい思いをさせない」と長年、声をあげ続けて来た方たちの強い思い——私たちは、そのバトンをしっかりと受け取ります。私たちは決して諦めず、飲酒運転のない社会を、自分たちの手で築いていくことを、ここに宣言します！」

その力強い宣言は、飲酒運転事故当事者の心にも、希望の光を贈っていました。

二十年間、「なぜ自分は生かされたのだろうか？」と、自問し続けた大沼かおりさんも、その長い年月を経て、ようやく辿り着いた「答え」を語っていました。「私の苦しみや悲しみが、いつか誰かを支える力になるのなら、この苦しみも、悲しみも活かされる。私が歩んできた人生が、生きる希望を見失いそうになっている誰かの心に寄り添うことができるのなら、今、苦しみや悲しみの中にいる人の道しるべに、私はなりたい」

その強い生き方に、多くの苦しみや悲しみがきつと癒されていく事でしょう。

主催者の一人として登壇した福岡市の高島市長は、福岡市役所の公用車に、アルコールインターロックを導入したことを発表。福岡市がこの装置を率先して導入したことも、飲酒運転ゼロの機運をさらに高めていく起爆剤になるはずだ。

あの日から二十年——飲酒運転撲滅への新たな一歩を、福岡県民が一丸となつて、さらに歩み出しました。

	 きれいな街づくりに取り組む環境事業 株式会社 昭南開発	 株式会社 東洋ナビックス
	LINE BUILDING GROUP ライン不動産株式会社	名古屋という名前ですが、福岡の会社です。  名古屋ハイウェイ
NPO法人はあとスペースの活動を応援します 株式会社 かかし倶楽部グループ	Architect Building  総合建設業・鋼構造物工事業 株式会社 馬場製作所	「おいしい」と人をつなぐ  株式会社 イシカワ

(順不同)



TEAM ZERO FUKUOKA 8.25の誓い

二〇二六年八月二十五日の夜、福岡タワーに「0（ゼロ）」のシンボルマークが点灯しました。

飲酒運転ゼロを目指すキャンペーン「チームゼロフクオカ」はこの日、8・25の誓いと題した屋外イベントを開催。

福岡第一高校、筑紫女学園高校の生徒たちと一緒に、飲酒運転による悲惨な事故を二度と起こさないための「誓い」を共有しました。

タワーに輝く光のように笑顔あふれる街のために飲んだら乗らない乗るなら飲まない誓いを福岡から未来へあなたの手で守るかけがえないみんなの命

福岡第一高校・書道部が魂を込めてキャンパスに著した書を前に、「皆さん！大切な命を守る選択をしてください！」とメッセージを送ると、会場から万雷の拍手が起きました。

また、筑紫女学園高校・コーラス部からは、美しい

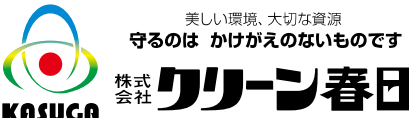
ハーモニーと共に、この世に生を受けたことへの感謝の気持ちを込めて「いのちの歌」を披露。その歌詞には、大切な命を尊ぶ心が脈打っていました。

命は継がれてゆく生まれきたこと育ててもらえたこと出会ったこと笑ったことそのすべてにありがとうこの命にありがとう※

日々、大切な人と過ごす時間は、かけがえのないもの。私たち一人ひとりの「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」という決意が、未来へつながることを願い、みんなの心に「明日へ進む力」を届けてくれました。

午後八時、イベントのクライマックスは福岡タワーの点灯式。高校生たちの手がスイッチの上に重なり合った瞬間、福岡タワーの壁面に、私たちの「飲酒運転ゼロ」への誓いが、美しく灯されました。

※「いのちの歌」 作詞：Miyabi

(順不同)



海の中道大橋で起きた飲酒運転事故から二十年という節目の二〇二六年。

今年も、新日本製薬株式会社(本社・福岡市)の新人社員と博多高校の生徒会、そして飲酒運転事故の被害に遭った当事者家族が、福岡市の昭和通りに立ち、車で通行するドライバーたちへ、飲酒運転撲滅への想いを訴えかけました。

この「旗の波運動」を、企業の社会的責任の一環として取り組む新日本製薬代表取締役社長CEOの後藤孝洋氏は、「弊社では、飲酒運転をした社員は懲戒としています。企業の経営者が本気になって飲酒運転の現実と向き合い、その厳罰化を企業方針として明確に示していくことが重要です」と語り、飲酒運転は絶対に許さないという、断固たる声明を発信しました。

一九九九年十一月、東名高速道路で起きた飲酒運転事故の被害者である井上保孝さん・郁美さんご夫妻の家族も、今年の旗の波運動に参加。自身の体験を切々

と語りながら、法改正への道を拓いた署名活動の日々を回想してくださいました。

また、二十年という歳月を経て、命の尊さや、生きていくことの価値への気づきを、若い世代に語りかける大沼かおりさんの声にも、苦悶の日々を突き抜けて辿り着くことのできた「強い生き方」を感じずにはいられませんでした。

「今現在を生きている皆さん一人ひとりのこれからの生活や人生が、ずっと守られ続けていくこと、そして、大切な命を最後まで生き通していただけること、そのことを、私は祈っています」——大沼さんの視線の先には、飲酒運転のない世の中の実像が、すでに見えているような気さえます。

この日も、昭和通りには、いつもと変わらぬ車の波が押し寄せていました。

その沿道に林立する飲酒運転撲滅の「旗の波」が奏でる波音は、通り過ぎるドライバーたちの良心へ、きっと届いていたと、強く感じています。

人と未来を、息吹で紡ぐ。



東海電子株式会社

飲酒運転ゼロを世界へ

アルコール検知器で安全な交通社会を実現

物流は眠らない

株式会社野村運送



いつも笑顔でお客様に満足と喜びをお届けします。

トールウェイサービス株式会社

西部電気工業

(順不同)

福岡県からのお知らせ

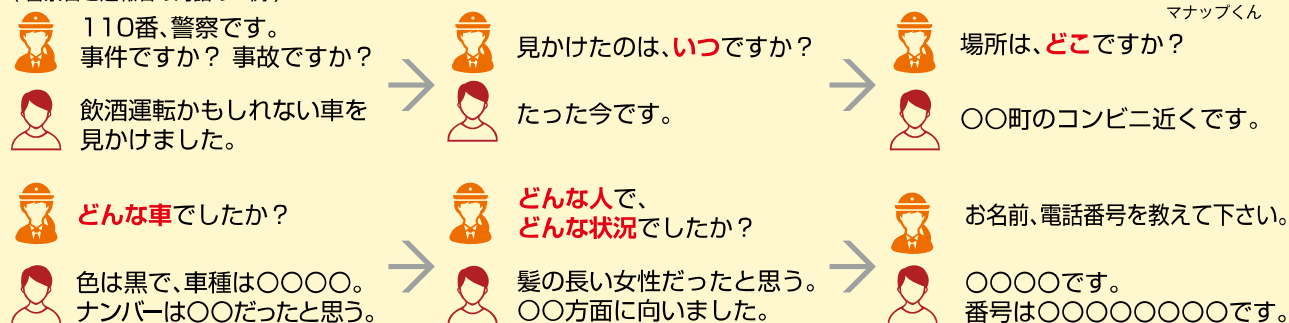
「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」により、全ての県民は、車両の飲酒運転を見た場合等は、**警察官に通報しなければなりません。**

すぐに110番通報ができるよう、
飲酒運転を見た場面を想定し、通報訓練を行いましょう！



① 警察官役と通報者役を決めましょう。② 警察官役が質問を始め、通報者役は質問に答えましょう。

〈警察官と通報者の対話の一例〉



※実際に通報する際は、警察官がお尋ねするので、落ち着いて聞かれたことに答えてください。
断片的な情報でも構いません。
※通報した方の氏名などを相手に伝えることは絶対にありません。

県ホームページ
飲酒運転撲滅への
取り組み



県警ホームページ
通報訓練
マニュアル(動画)



飲酒運転撲滅特設サイト

忘れない。飲酒運転のない明日に向けて。

海の中道大橋と粕屋町で起きた飲酒運転事故、私たちは、この痛ましい事故を決して忘れてはなりません。福岡県では飲酒運転撲滅への決意を新たにするため、事故の記録やご遺族のメッセージなどを特設サイトで発信しています。

一人ひとりの決意で、飲酒運転のない明日を一緒に作りましょう。



お問い合わせ
福岡県 市町村・地域振興部 生活安全課
(交通事故をなくす福岡県民運動本部)

TEL 092-643-3167 FAX 092-643-3169

Eメール anzen@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県飲酒運転撲滅

検索

飲酒運転を見かけたら、必ず110番通報をお願いします！皆さんの通報が大切な人の命を救います。



は|あ|と|N|E|W|S TOMOsをご覧ください、
ありがとうございます。

2006年、福岡県で発生した海の中道大橋事故から20年という節目を迎えるにあたり、「希望のひまわり旗」を制作いたしました。深い悲しみの中でも前を向こうとする希望と、飲酒運転による悲劇を二度と繰り返さないという強い決意を、ひまわりの花に託しました。

この「希望のひまわり旗」は、福岡県を通じて「交通事故をなくす福岡県民運動本部」へ寄贈。福岡県が定める8月25日からの飲酒運転撲滅週間に合わせ、行政や支援者の皆さまのご協力のもと、合計1,000枚の「希望のひまわり旗」を県内各地に掲げ、飲酒運転撲滅への願いを広く発信しました。



20th
Anniversary



パーフェクトワンは、世界のトップモデルの輝きを支えるブランドとして、ミラノ・パリのファッションイベントに登場しました。

おかげさまで、新日本製薬のスキンケアブランド『パーフェクトワン』は、2026年に誕生20周年という節目の年を迎えます。

これもひとえに、日頃よりご愛顧くださる皆さまのおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちはこれからも、世界中のひとりでも多くの方が幸せや感動に満ちた笑顔あふれる毎日を過ごせるよう、グローバルブランドとして新たな挑戦を続けてまいります。

今後も変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



PERFECT ONE

 新日本製薬

